■(弓削)道鏡　　僧。孝謙上皇を看病し，寵幸されて権勢，ついに法王となって皇位窺うも，神託で阻止され，配流に。
どうきょう
・・・・・・ 709＝　この頃誕生。河内国若江郡の人。俗姓は弓削連氏。その祖先については物部守屋とする説と，天智天皇の孫で施基王の子とする説があり一定していないが，少なくとも後者の説は造作の可能性が高い。
平城京遷都・ 710＝ 1歳：

養老律令・・ 718＝ 9歳：

藤原不比等没 720＝11歳：

義淵僧正に師事，
渤海交流始・ 727＝18歳：
・・・・・・ 728＝19歳：師義淵が死去。
長屋王の変・ 729＝20歳：

・・・・・・ 736＝27歳：
藤原四卿没・ 737＝28歳：

行基初大僧正 745＝36歳：

大仏鋳造始・ 747＝38歳：東大寺写経所の請経使となり，良弁のもとに赴いたとあり，これが史料上の初見である。この頃，僧として梵文にわたり，禅行をもって聞え，これにより内道場に入り，禅師に列したとある。

鑑真来日・・ 754＝45歳：

聖武天皇没・ 756＝47歳：

・・・・・・ 761＝52歳：_孝謙上皇の近江保良宮行幸に際し，時に看病に侍して寵幸されるに及んだ。このため，上皇と淳仁天皇との不和が生じたという。
新羅征討計画 762＝53歳：*上皇は朝堂に五位以上の貴族を集め，出家して仏道に帰して仏弟子となるとのべ，以後，常の祀の小事は天皇(淳仁)が行ない，国家の大事，賞罰の二つは上皇が行なうと宣した。これにより，藤原仲麻呂に代わって道鏡の進出が具体的に明らかになった。ただし，この段階では，東大寺一切経司所の牒にあるように，〝法師道鏡〟にすぎなかった。
押勝暗殺計画 763＝54歳：_さきの上皇の宣をうけて，’行政理にそむき，綱たるにたへず’との理由を付して先ず慈訓を少僧都から退任させ，代わって道鏡がこの任に当った。この事態を危機とみた仲麻呂は，
恵美押勝の乱 764＝55歳：*道鏡排斥を試みて，敗死した。この時，「この禅師，昼夜朝庭を護り仕へ奉る」こと，その行ないをみるに「至りて浄く，仏の御法を継ぎ隆めよと念ほし」たことにより，大臣禅師に任ぜられた。道鏡は上表してこの職を辞したが，許されなかった。こののち，孝謙上皇は淳仁天皇を廃し，再び称徳天皇として重祚した。
・・・・・・ 765＝56歳：_弓削行宮(のちの由義宮)にいたった称徳は，弓削寺に行幸し，詔して道鏡に太政大臣禅師を授けた。
道鏡法王・・ 766＝57歳：*隅寺(のちの海竜王寺)の砒沙門像から舎利が現われ，これを法華寺に請じた。よって法王の位を賜わり，これに功績のあった基真には法参議・大律師の任が与えられた。これにより，法王道鏡の月料は供御に准じ，道鏡の弟子大僧都円興は大納言，基真は参議に准ぜられた。
・・・・・・ 768＝59歳：_基真は左道を学び，舎利出現も基真の策略とわかり，飛騨国へ配流，道鏡もこれを利用したと指弾されているが，この事件は基真ひとりに責を帰せられた結果となっている。
宇佐八幡神託 769＝60歳：_大宰主神中臣習宜阿曾麻呂が宇佐八幡教を矯めて，道鏡が皇位に即けば天下太平と上奏。よって，和気朝臣清麻呂を宇佐に派遣した。しかし，清麻呂は臣をもって君とすること未だあらずとの神託をうけて帰京，道鏡は清麻呂の本官を解いて因幡員外介とし，さらに除名の上，大隅国に配流した。
光仁天皇・・ 770＝61歳：*称徳崩御し，道鏡は称徳の葬礼後，梓宮に奉じて陵下にとどまった。しかし，皇太子(白壁王)の令旨により，道鏡は舐犢の心を挟むこと久しく，陵土の乾かぬうちにその奸謀があらわれたとし，天皇の厚恩をうけたことにより刑に処することをやめ，下野国薬師寺の別当に配流され，
厭魅事件・・ 772＝63歳：_没した。

吉川弘文館人物叢書，「日本史を変えた人物200人」，「日本史重要人物101」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，